

日時: 2011年3月20日 10:49:28JST

件名: Epilepsy\_Disaster\_110320\_10:50, 臨時版

福島県立医科大学精神科

丹羽真一先生

緊急支援ご苦労様です。

日本てんかん学会から抗てんかん薬が仙台医療センターに送られて倉庫にあります。  
このうちの一部を石巻日赤に送りまして、さらに明日、私が現地に赴いて、  
中小の病院や臨時の診療所のニーズを確認しながらの配布を予定しています。

仙台医療センターにある薬の一部を、福島方面にも届けてあげたいのですが、輸送手段（人も車も）  
がありません。

とりにきてもらうのは、難しいでしょうか？

ご承知のように緊急車両の認定が厳しくなっているのとガソリンの問題もあります。

私一人ではすぐに解決できないので、取り急ぎ、関係者に回覧します。

どなたか輸送できる方はございませんか？

抗精神薬に関しては、東北大学の曾良先生が、収集作業をおこなっていて2～3日中には仙台地区に  
届く予定とのことです。

こちらに関しては、曾良先生（cc）にご相談下さい。

中里信和

From: 丹羽 真一

To: 精神医学講座担当者会議 会員 各位様 ; 精神医学講座担当者会議 事務局

Cc: 畑 哲信 先生 ; 福島県 障がい福祉課 御中 ; 中谷 祐貴子 様

Sent: Sunday, March 20, 2011 6:17 AM

Subject: 【kouzatantou:163】 丹羽です。 いわき市の避難所でのこころの相談活動の御報告  
です。

皆様

19日に緑川先生などさわ病院からの4名の支援者と一緒に、福島医大チームとしていわき市の避難  
所を2か所だけですが回って、こころの健康相談をして来ました。 今まで精神科にかかっていたが  
病院、診療所が外来を停止し、薬局も閉まってしまっていて、薬がなくて困っているという方がかな  
りおられまして、さわ病院からの支援薬で飲みつないで頂くようにしました。 薬がないというの  
は、内科疾患の方も同様な事情ですから、血圧の薬などもお渡しして来ました。 さわ病院からの薬  
にはテグレトールやアレビアチンなどの抗てんかん薬が少なかったため、福島医大・心身医療科担当  
の薬剤師・渡辺さんを通して福島医大病院・薬剤部からテグレトールとアレビアチンを100錠ずつで  
すが災害対策として購入したものとして出して頂きましたので、20日にそれをいわき市へ持参する  
こととしました。

20日は津波で親族を失った人達がいる小名浜の避難所を回る予定ですので、19日の問題とは違っ  
た相談業務になるかと思えます。

福島県から緊急車両認定証を得ていましたので、福島市からいわき市までは東北自動車道と常磐道

の高速道路を走り1時間40分ほどで行くことができました。 高速料金は無料になります。 高速道路は地震のために波打った状態に壊れており、一部ではジェットコースターのようになっています。 精神科で治療中の患者さんが行き場を失っているというのが解決を要する問題と思われました。

いわき市内だけでも160くらいの避難場所があります。 福島医大チームだけではとても回りきれません。 また、上記の事情ですから、薬が全く足りません。 いわき市へ薬が入ってこない状況もあります。 いわき市は原発から50kmは離れていまして、空中の放射能は1~2  $\mu\text{Sv/h}$ くらいで心配ない状況なのですが、風評被害あるいは偏見と言ってよい思い込みにより支援が届かない状況にあります。

どうか、薬などの物的支援と人的支援を御願い致します。

支援いただける際は講座担当者会議の朝田先生へ支援いただける内容をお知らせくださいますように御願い致します。

丹羽真一